Rotary international District 2530 2017 august

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ロータリー：
変化をもたらす

県立南湖公園

2017
8
VOL.2

Contents

ガバナーメッセージ ……2
地区掲示板……3
前期地区委員会総会報告……4
委員会事業計画
クラブ奉仕員会事業計画 ……5
職業奉仕委員会事業計画……6
社会奉仕委員会事業計画……7
国際奉仕委員会事業計画……8
青少年奉仕委員会事業計画…… 8
ロータリー財団委員会事業計画 …10
米山記念奨学会委員会事業計画…11
地区運営(戦略&IT)委員会事業計画…12
新会員紹介……13
文庫通信……13
職業奉仕委員会情報……14
地区大会のご案内……16

国際ロータリー第2530地区　2017－18年度 ガバナー　鈴 木 邦 典

ガバナー事務所　〒961-0074　福島県白河市郭内12-23　TEL 0248-21-7080　FAX 0248-21-7090
E-mail:d2530shirakawa@rainbow.plala.or.jp

ガバナーメッセージ

会員増強・拡大月間にあたって

2017－18年度
国際ロータリー
第2530地区ガバナー
鈴　木　邦　典

ロータリーの年間の行事では７月を除いて、毎月強調月間がございます。８月は会員増強・拡大月間になっております。

イアン・Ｈ・Ｓ・ライズリーＲＩ会長は今年度の第一の重点目標として「クラブのサポートと強化」をあげております。様々な考え方や経験を持つ会員がいれば、クラブは新鮮なアイデアがもたらされ、地域のニーズを幅広い角度から理解できます。

クラブが地元や世界に変化をもたらすには、会員の参加を促し、そのスキルと関心を生かし、会員の声をクラブの未来に反映させていくことが大切です。

クラブの会員基盤を広げ、多様な会員を増やし、積極的な参加を促しましょう。

クラブ会員数が50名以下のクラブ
……１名の純増
クラブ会員数が51名以上のクラブ
……２名の純増

また積極的に女性会員と40歳未満の会員でロータリアンにふさわしい人、ロータリアンになれる人、会員として立派そうに見える人に対して入会を呼びかけることも大切であります。

また一方、入会を推し進めるクラブの会長はそのクラブの顔であり広告塔であり、会員増強委員長と共に、ロータリーとはどのような団体なのかを理解しておく必要があります。

会員増強は単に会員を増やすことではなく、基盤強化でありより質の高い会員の入会を求めなければなりません。先のＧＥＴＳ（ガバナーエレクト研修セミナー）において、ポリオ撲滅運動「もう少し」はアフガニスタンはじめアフリカ奥地にてポリオワクチンが届かない、つまり内戦の影響で子供にワクチンを届けるために警備兵を雇い、更にその警備兵を警備するために、まだ多額の資金を必要としています。そのため少しでも多くのロータリアンを増強して資金的にも応援していただきたいとＲＩ会長の講演を聞いて、まさしく会員増強はロータリーの最大の目標であるポリオ撲滅の有効な手段であると思いました。

６月の国際大会（アトランタ）ではビル・ゲイツ氏も講演され、「ポリオ・撲滅までもう少し」と呼びかけられました。

「ポリオは医学だけでは治らない、ロータリーの力である」

地区掲示板

国際ロータリー第2530地区　2017-18年度地区大会　ＲＩ会長代理

水野（みずの）　功（いさお）様

第2750地区　東京飛火野ＲＣ
貨物運送
1989年４月入会
1963年２月６日生
令夫人　利律子 様

千代田運輸株式会社　代表取締役
〒191-0003　東京都日野市日野台1-21-1
☎042-581-1441　ＦＡＸ042-681-2079
Email:i,mizuno@chiyodaunyu.co.jp

知事表敬訪問　7月3日(月)

福島県庁に鈴木邦典ガバナーと鈴木和昭白河RC会長、須藤博之地区大会実行委員長、草野好夫地区幹事、そして満山喜一県議会副議長（白河RC）以上の5名で内堀雅雄福島県知事に新年度の表敬訪問を致しました。内堀知事には来たる10月15日（日）白河市文化交流館「コミネス」で実施されます、国際ロータリー第2530地区・地区大会の御招待状を直接お渡し、当日の参加と御挨拶のお願いをしました。

事務担当者研修セミナー　7月15日(土)　ブリティッシュヒルズ

地区幹事　草　野　好　夫

天栄村のブリティッシュヒルズに於いて各ロータリークラブの事務担当者に対する研修セミナーが開催されました。佐藤厚潮地区副幹事の司会進行で鈴木邦典ガバナーの挨拶、地区幹事研修会が開催された趣旨、及び報告事項等の説明、地区資金送金等の説明。次に平井義郎ガバナーエレクトがMy Rotaryについて。最後に鈴木邦典ガバナーによりますガバナー談話として、参加の皆様に最近の情報をお話いただきました。

53名の参加をいただきました。本当にありがとうございました。

地区名簿の訂正について

先日お送りした「地区名簿」に下記の通り誤りがありましたので訂正いたします。
関係の皆様にお詫び申し上げます。

P 94 斎藤裕慈様のメールアドレス　（誤）yuji3231@sweet.ocn.ne.jp →（正）yuni3231 @ sweet.ocn.ne.jp

前期地区委員会総会報告

日時　2017年7月8日㈯
場所　東京第一ホテル白河

登　　録

諮問委員会

総本会議

地区幹事　草野好夫

7月8日㈯地区行事の前期地区委員会総会が、白河市の東京第一ホテル新白河で開催されました。10時から地区戦略計画委員会。鈴木邦典ガバナー、佐久間英一直前ガバナー、平井義郎ガバナーエレクトの3名で会議をもたれました。11時30分から第一回諮問委員会。佐原元パストガバナー、阿久津肇PG、牧公介PG、味戸道雄PG、中澤剛PG、大橋廣治PG、渡邉公平PG、野﨑潔PG、酒井善盛PG、佐久間英一直前ガバナー、平井義郎ガバナーエレクト、鈴木邦典ガバナーの12名に参加をいただき開催されました。13時30分から本会議。14時から分科会。各委員会に分かれて事業方針を協議し決定していただきました。同時刻にガバナー補佐会議がもたれ、一緒に地区研修委員会の5名も参加をして各分区のIM開催について協議していただきました。15時30分から各委員会の事業方針の発表。最後に渡邉公平地区研修委員長の総評をいただいて閉会点鐘になりました。総勢85名の参加をいただきました。

17時から懇親会が開催され、鈴木邦典ガバナーの挨拶、佐久間英一直前ガバナーの乾杯のご発声で宴会が始まり親睦と友情を深めることが出来ました。65名参加をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

各委員会事業計画審議【分科会】

クラブ奉仕委員会

職業奉仕委員会

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

青少年奉仕委員会

ロータリー財団委員会

米山記念奨学会委員会

地区運営(戦略&IT)委員会

地区研修委員会

ガバナー補佐会議

懇　親　会

委員会事業計画

クラブ奉仕委員会事業計画

クラブ奉仕委員会
委員長 **山守　龍司**
（いわき内郷RC）

クラブ奉仕委員会
副委員長　本田　哲夫（郡山南RC）
会員増強・拡大委員会
委員長　箭内　一典（福島中央RC）
委　員　高萩　勝利（いわき勿来ＲＣ）
〃　坪井　大雄（福島ＲＣ）
〃　吉田　　充（白河西RC）
〃　星　冨士雄（喜多方RC）
公共イメージ向上委員会
委員長　野地　利雄（福島南RC）
委　員　佐藤喜市郎（飯坂RC)
〃　神保　優子（会津若松中央RC）
〃　初瀬　照夫（郡山RC）
〃　伊東　優子（福島21RC）

１．「ロータリー：変化をもたらす」

2017～2018年度ＲＩ会長イアンH.S.ライズリー会長が掲げた次年度のＲＩテーマであります。このテーマの戦略計画の３つの優先項目(クラブのサポート強化、人道的奉仕の重点化と増加、ロータリーの公共イメージと認知度の向上）とかかわる目標を達成するクラブは発展し地域社会に変化をもたらすといわれております。ＲＩ会長のテーマに基き鈴木ガバナーは次の活動目標を確立いたしました。

２．「ＲＩ第2530地区活動目標」

①．各クラブへのサポートと強化
会員増強の地区目標　純増　100名
クラブ会員数　50名以下……1名の純増
クラブ会員数　51名以上……2名の純増
40歳未満の会員と女性会員の純増を目指す
②．人道的奉仕の重点化と増加
③．ロータリー公共イメージと認知度の向上
公共イメージが良くなればクラブと地域社会との関係も良くなり、入会への関心も高まります。地元や世界の変化をもたらすクラブの活動について、魅力あるストーリーを伝えることでロータリーの認知度を高めよう。
④．ＲＩ会長賞に挑戦しよう
⑤．ロータリー財団への協力
⑥．米山記念奨学会への協力

３．「活動目標の達成を目指して」

地区クラブ奉仕委員会は各クラブへの援助・サポートする事が求められております。具体的には、活気あるクラブとするために必要な事項を少し上げてみますと
※年次目標や長期計画を立てるための支援をする
※クラブが効果的ロータリークラブとなるよう支援する
※新会員の増強や会員の維持に努めることができるよう支援する
※ロータリーについて広報しクラブの活動を紹介するよう支援する
※公共イメージアップの活動に対する支援助成を行う
他にも沢山の支援すべき事がありますが、クラブ会員の皆様と共に鈴木年度に臨みたいと思います。

４．「クラブ奉仕委員会の構成」

鈴木ガバナーの活動目標の①と③を重要として、委員会構成を２委員会と致しました。
副委員長　　本田哲夫（郡山南ＲＣ）
会員増強・拡大委員会委員長
箭内一典（福島中央ＲＣ）
公共イメージ向上委員会委員長
野地利雄（福島南ＲＣ）

５．「本年度の事業予定」

⑴８月下旬に会員増強・会員維持のためのセミナーを開催したいと思います。

※公共イメージアップ向上についても、早い次期の開催が必要との意見があり同時開催も考えております。

最後になりましたが、地区内クラブ・会員の皆様にはご支援とご協力をいただき、鈴木ガバナー年度の活動目標の達成を願っております。

皆様の暖かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

職業奉仕委員会事業計画

職業奉仕委員会
委員長　**藤田　　卓**
（東白川RC）

職業奉仕委員会
副委員長　田久昌次郎（いわき平中央ＲＣ）
職業倫理委員会
委員長　上村　直人（いわき常磐ＲＣ）
委　員　山田　　稔（福島しんたつＲＣ）
〃　泉田　征慶（浪江ＲＣ）
職業情報委員会
委員長　林　　克重（福島南ＲＣ）
委　員　猪股　純一（田島）
〃　渡邉　宏二（三春ＲＣ）

１．職業奉仕を学ぶ意味

職業奉仕はロータリーの中核をなす本質的要素であり又他に誇り得る2016年手続要覧の基本概念であることを意味しています。従って職業奉仕を理解することなくロータリーを理解することはできません。したがいまして私達は職業奉仕を基本に立ち返って学ばなけれなりません。

２．職業奉仕委員会本年度方針

「永続・発展の職業奉仕を」勉強しよう

１）ガバナー月信に毎月「職業奉仕ページを確保して理論構造及び実践参考事例の情報を載せる

２）ガバナー月信に載せた12ヶ月分を小冊子にまとめ各クラブに配付して職業奉仕のレベルアップをはかる

３）職業奉仕委員会セミナーを開催する

実施期日

一回目　H29年11日５日(日)
郡山ユラックス熱海（予約済）

二回目　H30年４月予定
郡山ユラックス熱海（予約済）

３．本セミナーの趣旨

本セミナーでは皆様方と私達地区委員が職業奉仕の理解を深めることを企画しています。そのため職業奉仕を理解するのに重要なテーマを４つ取り上げて各担当委員から説明していただくことに致しました。本年度方針にもありますように解りやすい言葉、優しい言葉でお話ししていただきます。私達地区委員は職業奉仕に関して特別な研修を受けているわけでもありません。従って皆様と一緒に勉強させていただくものですのでよろしくお願い致します。

社会奉仕委員会事業計画

社会奉仕委員会
委員長 **中村　岳嗣**
（猪苗代RC）

社会奉仕委員会
副委員長　望月　隆司（常葉ＲＣ）
環境保全委員会
委員長　山田　　覚（福島グローバルＲＣ）
委　員　吉田　俊哉（浪江ＲＣ）
〃　阿部　幹雄（矢吹ＲＣ）
地域社会奉仕委員会
委員長　髙縁　勝一（郡山安積ＲＣ）
委　員　三瓶　一壽（三春ＲＣ）
〃　佐久間弘行（川俣ＲＣ）

今年度の地区目標は、１.各クラブのサポート強化　２.人道的奉仕の重点化と増加　３.公共イメージと認知度の向上が重要な部分になっています。一方、地区社会奉仕委員会の課題は、クラブ社会奉仕委員会のために、地区内の新しい傾向、論点、または、新しい問題を探す援助。クラブ・プロジェクトの強化に役立つロータリー情報の提供。ロータリー地域社会共同隊結成奨励の活動。クラブ社会奉仕委員長に対し、成功した社会奉仕プロジェクトを定期的に報告するよう要請。地区規模の社会奉仕活動体の組織づくり。とされています。

震災以降、地区社会奉仕委員会の活動は必然に「復興」が中心でした。これまでの５年間の年次主要業績を掲げると、16-17年度、世界中からの支援への御礼として、地区内の震災復興活動の代表的事業をとりまとめて英訳を添付し、地区HPに掲載。15-16年度、「うつくしま福島　福島の安全で美味しいものを食べよう」福島県農畜産物サポーター養成講座開催。14-15年度、福島にこらんしょ！キャンペーン。13-14年度、会津の里にこらんしょ！キャンペーン。12-13年度、ロータリーこども雪遊び広場。というものです。

現在は、復興の視点だけではなく、より本質的な社会奉仕活動が求められております。当委員会は、地区内クラブの社会奉仕活動がより意義深いものになるよう行動したいと思います。

今年度の方針

１．初期のロータリーの発展を検証し「会員が社会奉仕を行う事の意義」を改めて共有する。

２．地域社会奉仕委員会
①各クラブの社会奉仕活動の情報収集と提供。地区HPへの情報掲載。
②地区会合やセミナーで、ＲＣＣ等の社会奉仕活動手法の理解推進を図る。

３．環境保全委員会
①猪苗代湖漂着水草回収作業への参加をさらに推奨する。
②地区独自のエコキャップ収集体制の拡充。集めてくださる皆様へ資源リサイクルの内容とポリオプラスの意義の理解が深まる資料を整備して提供する。

国際奉仕委員会事業計画

国際奉仕委員会
委員長 **佐藤　信博**
（福島21RC）

国際奉仕委員会
副委員長　佐藤　利男（船引RC）
国際活動交流委員会
委員長　吉田　恭子（いわき桜RC）
委　員　伊藤　修一（二本松RC）
〃　吉田　喜一（郡山北RC）
〃　奏　郁子（猪苗代ＲＣ）

□世界社会奉仕（WCS）はグローバル補助金委員会に移動し

国際奉仕委員会組織としてなくなりましたが、その重要性を示し、グローバル補助金・地区補助金DDFを利用しての奉仕活動をお手伝いしてまいります。

□国際交流

国際交流を通じて、世界平和に貢献する。その具体例を示して活動の手助けをしてまいります。

・姉妹クラブ等の活用
・青少年交換の紹介
・ロータリー財団奨学生の紹介
・米山記念奨学生との交流
・趣味を介しての海外交流
・海外のクラブへのメークアップ
・国際大会への参加

以上の仕方等をお知らせし、お手伝いをしてまいります。

□国際奉仕セミナーの開催

□2018年6月23日～27日開催　トロント国際大会

友愛の広場に第2530地区のブースを開設し世界の皆様に

・福島大学とのグローバル補助金事業の報告
・3.11災害の当地区の取り組み、援助金報告、御礼等をしてまいります。

青少年奉仕委員会事業計画

次期青少年奉仕委員会
委員長 **廣澤　俊樹**
（福島南RC）

青少年奉仕委員会副委員長　渡邊　英世（福島中央ＲＣ）
インターアクト委員会
委員長　大木　和彦（須賀川ＲＣ）
委　員　矢内　好男（船引ＲＣ）
〃　猪俣　孝之（会津坂下ＲＣ）

ローターアクト委員会
委員長　増子　博保（三春ＲＣ）
委　員　矢吹　正（郡山南ＲＣ）
〃　関根　信（郡山ＲＣ）
ライラ委員会　委員長　菅原　節子（福島南ＲＣ）
委　員　菅野　拓司（保原ＲＣ）
〃　伊藤　繁美（いわき桜ＲＣ）
青少年交換委員会　委員長　佐藤　正道（喜多方ＲＣ）
委　員　細川　正司（石川ＲＣ）
〃　坂本　典久（原町中央ＲＣ）
〃　原田　康博（いわき平東ＲＣ）

1. 青少年奉仕プログラムの支援。

(1) インターアクト（Interact)

ロータークラブが提唱する、12歳～18歳の青少年のリーダーシップや、奉仕の精神を養う為のクラブです。2530地区には現在、16の高等学校、２つの中学校、1つの専門学校の計19のインターアクトクラブがあります。

今年も新クラブの提唱をサポートし、ロータリークラブとインターアクトクラブの連携を推奨します。

(2) ローターアクト（Rotaract)

ロータリークラブが提唱する、18歳～30歳の青年たちのリーダ―シップや、奉仕の精神を養う為のクラブです。2530地区には現在３つの大学生クラブと、４つの社会人クラブの、計７つのロ ーターアクトクラブがあります。

今年も新クラブの提唱、特に未提唱地区に於ける提唱をサポートし、ロータリークラブとローターアクトクラブの連携を推奨します。

(3) RYLA（Rotary Youth Leadership Awards）ロータリー青少年指導者養成プログラム

地区が行う、14歳～30歳（2530地区は18歳～35歳程度）中高生、大学生、社会人を対象とする地域社会のリーダーシップを養成する為のプログラムで、多くの参加者（ロータリアンも含 め）を得、有意義な会議とします。

(4) 青少年交換（Youth Exchange)

地区が行う、15歳～19歳の高校生を対象とした、国際理解と親善を目的とするプログラムで、長期の１学年度、又は1～3週間の短期交換プログラムが有り、多くの交換留学が実現するようにサポートします。

※各クラブが、青少年奉仕活動への理解を深めて頂くためのサポートをします。
（年度当初の各分区会長幹事会への訪問。各クラブへの随時訪問。）

※ロータリー活動を通し、青少年がリーダーシップや奉仕の精神を養い、人間としての成長をサポートします。

2. 会長賞の受賞サポート（以下青少年奉仕関連項目）

⑴インターアクトクラブの提唱、または他クラブとの共同提唱。

⑵ローターアクトクラブの提唱、または他クラブとの共同提唱。

⑶インターアクトクラブとロータリークラブの共同プロジェクトの実施。

⑷ローターアクトクラブとロータリークラブの共同プロジェクトの実施。

⑸クラブが少なくとも1名の青少年交換学生の派遣、または受け入れ。

⑹クラブが少なくとも1名のRYLA参加者を派遣。

ロータリー財団委員会事業計画

ロータリー財団委員会
委員長 **橋本　芳家**
（いわき常磐RC）

ロータリー財団委員会
副委員長　早川　敬介（郡山北ＲＣ）
補助金委員会　委員長　佐藤日出夫（喜多方ＲＣ）
委　員　右近　八郎（福島ＲＣ）
〃　中西總一郎（浪江ＲＣ）
資金推進・ポリオ委員会
委員長　中田　泰一（いわき鹿島ＲＣ）
委　員　松永　雄一（原町中央ＲＣ）
〃　唐橋　通夫（喜多方中央ＲＣ）
財団資金管理委員会
委員長　青木　謙二（南相馬）
委　員　大川原利信（郡山安積ＲＣ）
〃　阿部　真樹（だて西）
〃　遠藤希和子（いわき桜ＲＣ）
学友・平和フェローシップ委員会
委員長　鈴木美恵子（福島グローバル）
委　員　大越　彰（須賀川ＲＣ）
〃　渡辺　章（二本松あだたらＲＣ）

ロータリー財団はロータリーのエンジンと言っても過言ではありません。またロータリー財団はロータリーの玉手箱とも言われております。1905年にアメリカのシカゴにロータリークラブが発足してその12年後の1917年に国際ロータリー会長アーチC・クランクの「金だけではたいしたことは出来ない。個人の奉仕は金が無ければ無力である。この二つが組み合さなければ文明への天の恵みとなることができる。世界で良いことをするために基金を作ろう」の呼びかけのもとロータリー財団が誕生しました。それから３年後の1920年に日本に東京ロータリーが誕生しました。そしてその３年後の1923年９月１日に首都東京が壊滅状態になった関東大震災が起こり10万余りの人が亡くなりました。この時にアーチC・クランクの呼びかけで国際ロータリーは東京ロータリーに2万54ドルの義援金を送ったのです。当時は１ドルが２円ですから５万円ですが今の貨幣価値に換算すると約50億円位です。さらに追加で５万ドル約100億位が送られて来ました。設立わずか３年の遠いアジアの彼方の日本ロータリーに国際ロータリーは150億円もの義援金を送ってくれたのです。このお金で両親を失った震災孤児を救うために東京・横浜に二階建て耐火のロータリーハウスという孤児院を建築しました。またこの度の東日本大震災でも沢山の義援金が東北の被災地にロータリー財団より寄せられました。2017年はロータリー財団誕生100周年になります。これを機会にロータリー財団は10年計画で未来の夢計画を立てました。私達2530地区はアーチC・クランクの夢を継承して世界に向かって良いことをする未来の夢計画を実現すべくグローバル補助金を活用したプロジェクトを積極的に行うと共に「世界平和フェローシップの推進」「ポリオ撲滅の推進」を行い、地区補助金を活用した社会奉仕、国際奉仕を全クラブが行うように努め活動の原資である財団への寄付の増額を賜るようお願いして参ります。

米山記念奨学会委員会事業計画

米山記念奨学会委員会
委員長 **石黒 秀司**
（郡山RC）

米山記念奨学会委員会
副委員長 佐藤 演由（白河ＲＣ）
米山記念奨学会推進委員会
委員長 塩谷 憲一（福島しんたつＲＣ）
委 員 齋藤 純一（会津若松西ＲＣ）
〃 大野 順道（福島南ＲＣ）
米山記念奨学会学友委員会
委員長 阿部 光司（郡山西北ＲＣ）
委 員 一條 浩孝（福島南ＲＣ）
〃 赤井 博道（富岡ＲＣ）
米山記念奨学会選考委員会
委員長 藤田 弘美（郡山アーバンＲＣ）
委 員 菅野 秀士（郡山ＲＣ）
〃 重富 秀一（浪江ＲＣ）

「ロータリークラブの国際親善・奉仕は、米山が、リードする!!」の高邁なスローガンを掲げ、「奨学事業の価値は“どんな奨学生を採用したか”で決まる。さらに、意味のあることは“どんな奨学生に育てたか、育ってくれたか”だ。」をいつも、胸に刻みながらワクワク感満載の一年にして参りたいと思います。

米山記念奨学事業は、年間通しての事業予定が目白押しです。それに加え、上記のように事業に魂を入れ込んで行くには、今まで以上に、奨学生との接点、世話クラブ・カウンセラーとの接点、地区内クラブとの接点、指定校担当者との接点を設け、強化の必要があるため、活動方針は、

◆地区内ロータリアンに米山記念奨学事業の素晴らしさを積極的に伝え、＋１の行動で更なる高みへ…まずは、委員会メンバーがこの奨学事業に惚れ込もう!!

◆委員会でのメンバーとの出会い、奨学生との出会い…すべて必然
ワクワク楽しみながらの行動、そしてどうせやるなら（少々、後ろ向き表現）覚悟を以った一年に。

◆早めの余裕をもった行動が素晴らしい事業になる必要十分条件。の三点としました。

具体的には
関係するすべての接点をより多く・強く➡事業への理解度アップ➡寄付金増額➡採用奨学生の増加➡世話クラブの増加➡接点の増加➡理解度アップの良い循環を!!作りたいと考えます。

また、採用奨学生の地区配分が、地区寄付金平均と地区寄付金総額がもとになされていますので、地区目標15,000円を達成されると配分奨学生数がどうなり、委員会の環境がどう変わっていくのか？だから、15,000円必達の必要性を告知して参ります。

兎に角、積極的な行動で、鈴木ガバナーが掲げられた地区目標15,000円を必達のため、「会して議する。議して決する。決したら覚悟を以って、行動する。」を!!

ご協力を心からお願い申し上げます。

地区運営（戦略＆ＩＴ）委員会事業計画

地区運営（戦略&IT）委員会
委員長　**平井　義郎**
（福島中央RC）

地区運営（戦略＆ＩＴ）委員会
副委員長　土屋　繁之（郡山コスモスＲＣ）
戦略委員会　委員長　高橋　金一（郡山西ＲＣ）
委　員　志賀　利彦（いわき小名浜ＲＣ）
〃　渡辺　弘一（本宮ＲＣ）
ＩＴ委員会　委員長　鈴木　雅之（いわき勿来ＲＣ）
委　員　上野利一郎（喜多方ＲＣ）
〃　木村　幸二（福島21ＲＣ）

鈴木邦典ガバナーの目標の一つRI会長賞への挑戦に基づき、戦略計画委員会はクラブの戦略計画の進め方の指導をIT委員会はMy Rotaryの普及の操作指導と活用推進を行います。

【戦略委員会】

１．クラブの戦略計画委員会の設置と活動状況の現状調査を実施。

２．クラブ内に戦略計画委員会設置の推進と具体的な進め方についてのセミナーの実施。

３．クラブの細則見直しを推進します。
細則変更の必要性と具体的な変更の進め方について事例による説明会開催

４．事業計画
⑴昨年度、細則改正に関する調査書
⑵クラブの戦略計画実施状況の調査
⑶戦略セミナーの開催　8月5日㈯に開催予定。（会場未定）

【ＩＴ委員会】

①IT推進担当員を各クラブ内に１名選任を依頼

②選任されたIT推進担当者を対象にMy ROTARYの登録、操作の勉強会開催

③My ROTARYの普及と活用　地区目標=地区内会員登録率60%

④ガバナー補佐、地区委員会との連携

⑤地区ウェブサイトについて
・公共イメージ活動に関する実施情報などの掲載
・地区委員会の活動情報・資料などの掲載
・地区資料室の充実
・地区メーリングリストの活用と登録　現在270名登録。更に加入促進を行う。

My ROTARYの勉強会日程
１）７月22日(土)…県北第１分区、第２分区
２）８月26日(土)…会津分区
３）９月30日(土)…県中分区・中央分区・県南分区
４）10月21日(土)…いわき分区・相双分区

新会員紹介

県北第一分区　福島南ＲＣ
重信　宏司（しげのぶ　こうじ）

●職業分類：総合建設業
●生年月日：昭和43年７月11日

県北第二分区　だて西ＲＣ
居村　敏（いむら　さとし）

●職業分類：学校教育
●生年月日：昭和25年８月７日

県北第二分区　だて西ＲＣ
小澤是寛（おざわ　よしひろ）

●職業分類：総合建設
●生年月日：昭和20年９月21日

県北第一分区　福島南ＲＣ
金子與人（かねこ　ともひと）

●職業分類：自動車販売
●生年月日：昭和37年９月６日

県北第二分区　だて西ＲＣ
真柄信幸（まがら　のぶゆき）

●職業分類：食堂
●生年月日：昭和20年８月10日

県北第二分区　だて西ＲＣ
崔　淑華（つい　しゅうふぁ）

●職業分類：集会所管理
●生年月日：昭和52年５月15日

文庫通信（358号）

ロータリー文庫　〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル３階
ＴＥＬ 03-3433-6456　・　ＦＡＸ 03-3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

▷▷ロータリー情報◁◁

書　　名	著者／出版社	発行年	頁
ロータリー概論－ロータリー史からみた奉仕の理想	—／あわじ中央 R.C.	2002	167P
ロータリーエッセイ - 英米史の中でのポール P. ハリス考	矢作好英／—	2009	27P
ロータリーの基本～研修の手引き	本田博己／—	2012	40P
全く私 (わたくし) 的なロータリーの記録	井原俊彦／—	〔2015〕	83P
職業奉仕を学ぶ	—／ D.2680	〔2015〕	108P
クラブ会長スピーチ集	—／ D.2650	2016	94P
『ロータリーの真髄』～変えてはいけないロータリー	深川純一／ D.2510 IM 実行委員会	2017	31P
世界でよいことをしよう : ロータリー財団百年誌	デイビッド C. フォワード／ R.I.	2015	296P
ロータリー入門書 2017 ～ 2018 年度版	前原勝樹・重田政信・渡辺好政／—	2017	227P
ロータリー財団ハンドブック	—／ D.2750	2017	112P

【上記申込先：ロータリー文庫】

職業奉仕委員会情報

１．はじめに

地区職業奉仕委員会では、委員長方針により持ち回りで寄稿することが決まった。しかも2,500字！　所属2年目の身としては結構な分量である。

何を書こうか思案していた矢先（6/20）に、月信委員会から30日締切との知らせ。前から聞いてはいたが、せめてもう少し時間が欲しかった（今後執筆する委員は急な依頼にも驚かないようご注意下さい）。こんな前触れを認めてみたところで、200字にしかならない。

真面目に本論に移ろう。当委員会に所属して得たことは、なんと云ってもロータリーの歴史・基本的な考え方を整理できたことである。ここでは、地区研修協議会でも触れた私見「道徳」・「職業奉仕」論を改めて開陳する。

２．そもそも道徳とは

人類は共同体を形成した古代から何らかのルールを共有していたと考えられている。道徳の始まりは対人関係を円滑にするルールであり、コミュニティ形成の規範として古くから存在していたと捉えることができる。

ある本（大石久和著「国土と日本人」、中央公論新社）で「中世ヨーロッパでは城塞が都市であり、国家であった。一方、日本では城塞都市が作られたことはなかった。要するに、島国には外敵から住民を守る城は必要なかった。」との主旨を目にした時、妙に感心したのを覚えている。都市形成の点から道徳の成立を考えると、ヨーロッパでは都市ごとに固有なルールが出来上がり、日本での均質で総花的なルールの土壌はこんなところにあるのかも知れない。

３．道徳は普遍か

このように伝承してきた道徳は、時を経て切磋琢磨・取捨選択されたものが生き残り、固有化して現代社会に生きている。そして道徳は、人として、社会として、理想社会を実現する理念とも云える。理想であればあるほど、現実社会では容易に実現することはできず、ますます高尚な理念に昇華するのではないだろうか。

ロータリアンが自覚すべきは、ロータリーの理念や目的＝ローカル・ルールだということである。ロータリアンがそれらの普遍化を目指すならば、実践が必要である。北野武は『新しい道徳』のなかで、「道徳とは、その社会の枠を示すもの」だ、「いうなれば、牧場の柵」と同じだ。と書いている。ローカル・ルールはその最たるもので、理念だけを掲げても実践しなければ普遍化は覚束ない。もっと端的に云えば「ロータリーの行動規範」や「ロータリーの理念」に同調できない人はロータリー活動に参画するべきではない。

４．働くことの意味

職業奉仕は「自らの職業を通じた奉仕活動」と云われるが、生活のための労働と奉仕の関係を明確に説明するのは難しい。

心理学者のＡ・アドラー（1870-1937）は、「働くこと」が「劣等感を緩和する」と

語り、靴職人を引き合いに出し以下のように説明する。「人は誰もが靴を作れるわけではない。また靴を作れたとしても、靴を作るには時間がかかるし、それ以外にもやらなければならないことが沢山あるので、それだけのために時間を割くことはできない。そこで、人々は靴職人が作った靴を買って履くことになる。つまり、靴職人は、自分のためではなく、誰かのために靴を作り続ける。」そこには対価が支払われるが、人に役立っている感覚を抱いた時にだけ、人は劣等感を緩和できると述べている。日本では、皮職人は穢れ多い職業（穢多）として長い間差別を受けて来た。人に役立つ感覚、すなわち他人へ貢献している感覚が、職業のモチベーションを高め劣等感を緩和するのに繋がる。ロータリーの「職業奉仕」とは、究極的にはロータリーの価値を高めることにあると思慮するが、それだけではなくロータリアン一人一人の職業を通じた「他者に対する貢献」を実践・称揚し、人間に共通すると云われる劣等感を克服する活動と捉えることもできる。「例会は人生の道場」と云われる所以である。

５．人知らずして慍みず

人は生きるために働く。会津若松中央RCの福西氏は、それを「日常直面する職業奉仕」と喝破する。職業奉仕とは、日々大過なく上手に生きるなかにあると云える。一方で、働きたくても働けない人も存在する。

靴職人の例を出したが、「靴を作る（働くこと）」という日々の「行動（生きること）」は、靴を買った人（共同体を生きる人）に有益性を与える。そして靴職人は「公共に役立っているという感覚」、つまり「貢献感」を得ることで、「劣等感を緩和」でき、自分に「価値がある」と思えるような

る。これは職業を持たないお年寄りや障碍者にとっても大切な感覚で、要は仕事の貴賤などではなく「人に役立っている」と思える気持ちが必要なのである。

最後にA・マズロー（1908-1970）の欲求5段階説を紹介する。彼は、人間の欲求を下から生理的欲求・安全欲求・社会的欲求（帰属欲求）・尊厳欲求（承認欲求）・自己実現欲求の5つに分け、低次の欲求が充たされるとより高次の欲求を求めると説いている。他者から認められたいと思うことが尊厳欲求であるが、これが過ぎると自分の行動が一切注目されていないと思い込み、不満が昂じる。すなわち、承認欲求が大きくなりすぎると、その下にある社会に帰属するという欲求が相対的に小さくなり、バランスを崩してしまう（下図参照）。

2500年前を生きた孔子は「人知らずして慍みず、亦君子ならずや。」（『論語』学而篇）と語っている。人の欲求はままならないが、共同体における職業貢献、回りまわって誰かのためになっていると日常から思うことがロータリーの「職業奉仕」であり、それを実現するルールがロータリーの理念ではないだろうか。

マズロー：欲求５段階説概念図

ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー第2530地区

2017-18年度 地区大会のご案内

ガバナー：鈴木邦典

本格的な夏の到来とともにガバナー年度の幕開けとなりました。
さて、地区最大の行事であります地区大会は来る10月14日㈯、15日㈰の両日にわたり歴史の街・白河の新装なった白河文化交流館「コミネス」において開催する予定でございます。
この地区大会は地区内の活動について学び、他のクラブのロータリアンとの交流が目的であり、地区内外から多数のロータリアンを、そしてＲＩ会長代理ご夫妻をお迎えし、ご案内のようにそれぞれの分野の第一人者の記念講演等行う予定であります。
ロータリアン多数のご参加をお待ち申しあげます。

第1日　10月14日(土)

会場：東京第一ホテル新白河

10：00　ガバナー補佐会議
10：40　地区大会委員会
11：30　諮問委員会

■会長・幹事会
13：30　登録
14：00　開会点鐘
14：50　閉会点鐘

■地区指導者育成セミナー
14：50　登録
15：10　開会点鐘
15：20　講演
16：30　閉会点鐘

講師：鈴木　秀憲 氏

■ＲＩ会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
17：00　登録
17：30　ＲＩ会長代理ご夫妻入場
18：20　乾杯
20：00　「手に手つないで」
閉会のことば

第2日　10月15日(日)

会場：白河文化交流館「コミネス」

■大会本会議
08：30　登録
09：25　ＲＩ会長代理ご夫妻入場
09：30　開会点鐘
ガバナー挨拶
ＲＩ会長代理挨拶
来賓祝辞
10：35　休憩（10分）
10：45　大会委員会報告
ＲＩ現況報告
地区現況報告
11：20　各種表彰
12：00　昼食（50分）
12：50　記念講演
14：20　休憩（10分）
14：30　IAC・RAC・米山奨学生・
青少年交換留学生紹介
15：00　参加クラブ紹介
16：00　閉会点鐘

講師：田崎　真也 氏

小峰城

地区大会ゴルフコンペ

と　き　2017年10月9日（月・祝）
ところ　白河高原カントリークラブ
会　費　5,000円

登録申込は8月18日㈮まで

皆さまのご参加をお待ちしております

ホストクラブ
白河ロータリークラブ
コ・ホストクラブ
須賀川ロータリークラブ
石川ロータリークラブ
須賀川南ロータリークラブ
須賀川ぼたんロータリークラブ
東白川ロータリークラブ
矢吹ロータリークラブ
白河西ロータリークラブ
白河南ロータリークラブ